

分野名：家庭教育

## 地域愛あふれる子どもたちを地域全体で育む取組を通して

～「はぐみ」一枚の葉から大きな花へ～

筑前町四三嶋地区【自治公民館】 元民生委員 岡部 由美子

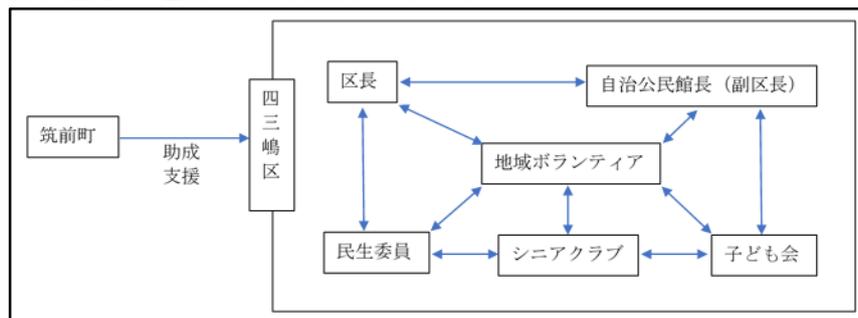
### 1. 事業名

- 補助金等を活用した健康づくり（ラジオ体操）の取組
- ラジオ体操をきっかけとした多世代交流の取組

### 2. 事業の目的

四三嶋地区の子どもたちを「地域の子ども」として育み、子育てや家庭教育を支える環境づくりを行う。

### 3. 事業の主体並びに連携・協力機関・団体等



### 4. 実施に至る経緯

平成 26 年に健康づくりのために立ち上げたラジオ体操の取組がきっかけとなり、町事業の補助を活用しながら、登下校中の子どもの見守りや、あいさつの推進、地域の活性化・自治公民館活動の充実を目的とした区民祭の開催等、様々な取組を行ったことで、「地域の子ども」を地域全体で育てていく意識が高まり、子育てや家庭教育支援につながっていった。

### 5. 事業の内容

#### (1) きっかけはラジオ体操

##### ①健康増進の取組

町事業として、健康意識の向上、健康の維持増進や地域コミュニティの育成を目的とした「筑前町健康づくり推進地区事業」がスタートした。四三嶋区でも何か取組ができないかと考え、平成 26 年に全世帯にアンケートを実施した（配付：113 枚、回収：81 枚、回収率：72%）。

アンケートから、「健診を毎年受けている」「運動習慣がある」等、健康に対する意識が高い人が多いことが分かった。その結果、更なる健康づくりを進めようと、ラジ



【写真 1：ラジオ体操の様子】

オ体操を始めることとなった。高齢者や親子、小学生等多世代の住民が公民館に集い平日は今でも毎日続けている。

#### ②ラジオ体操から子どもの見守りへ

ラジオ体操に参加していたメンバーが子どもたちと仲良くなり、自然と登校中の見守りやあいさつをするようになった。毎朝続けることで、子どもたちも安心して登校している。

#### ③見守られる側から見守る側へ

地域に見守られながら成長した子どもたちが中学生になると、学校帰りに高齢者宅へ行き、声掛けをする姿が見られるようになった。クリスマスにはケーキを持って訪問する等、交流が続いた。

#### ④「早寝・早起き・朝ごはん」＋「あいさつ」の習慣化

ラジオ体操を継続することで参加者の生活習慣づくりに良い効果がでている。また、毎朝の多世代交流により、子どもたちにあいさつの習慣が身についてきた。家庭でのあいさつも自然と増え、よりよい親子のコミュニケーションづくりにつながった。

### (2) 頼もしい子どもたち

#### ①防災会議の開催

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民が連携して支援を行うことを目的とした「ひとり暮らし高齢者見守りネットワーク事業」の補助金を活用し、平成28年に防災会議や避難訓練を実施した。中学校から中学生ボランティア育成の話があった経緯があり、中学生も参加し大人とともに学んだ。「中学生は即戦力になるね。」と、地域の担い手として期待する声が上がった。

#### ②高齢者宅の不燃物回収や仕分け

中学生が見守り活動のひとつである高齢者宅の不燃物回収や仕分けの手伝いをした。一生懸命作業する頼もしい姿が見られた。作業中に高齢者と中学生の会話が弾む等多世代交流の場ともなった。仕分けの方法を体験し学ぶことにもつながり、家庭でも生かせるよい機会となった。



【写真2：高齢者宅不燃物回収の様子】

### (3) きずなはさらにつながる

#### ○区民祭の開催

令和元年から3年間「自治公民館活動推進事業」の補助金を活用し、実行委員会方式で夏祭りを実施した。コロナ禍で中断していたが、今年度5年ぶりに区民祭として開催することができた。ラジオ体操のメンバーも参加し、「コロナ禍明けの地域を元気にしたい。」という思いで準備を行った。子ども会にも働きかけ、かき氷やヨーヨー釣りなどを担当してもらったことで親同士の交流の場となり、横のつながりをつくるきっかけとなった。四三嶋地域外も含め93人の子どもの賑やかな笑顔であふれた。



【写真3：四三嶋区民祭の様子】

仕事や学校で地元を離れた若者も帰省し、実行委員会とともに地域行事の中心とな

って準備を行う姿が見られた。「見守り育ててくれた地域のためにできること」を考え行動する姿に、地域愛あふれる若者が育っていると実感した。

#### (4) さらなるきずなを

##### ○子ども会とシニアクラブの交流

令和4年から「筑前町を良くする助成金」を活用し、子どもたちとシニアクラブの多世代交流を図ることを目的に取り組んでいる。子ども会とシニアクラブが連携し、企画や準備を行った。グラウンドゴルフ用品を購入し計画したが、結果的に天候に恵まれず、2年連続で室内レクリエーションや創作活動等の活動に変更した。当日、公民館に集まりコミュニケーションを取りながら楽しく活動することができ、保護者にも取組の良さが伝わった。今後も継続を希望する声が上がっている。



【写真4：子どもとシニアクラブの交流】

#### 6. 事業の成果と課題（○成果・●課題）

- 様々な事業を通して地域全体で子どもたちに声を掛け、見守り、関わることで、保護者にとって地域が家庭教育の支援者となり、安心して子育てができるようになってきている。
- 朝の「ラジオ体操」を継続することで、早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ等、参加者の生活習慣づくりに良い効果をもたらした。
- 多世代交流することで、子どもにも高齢者にも良い効果がある。地域を愛する優しい子どもが育っており、高齢者も子どもと触れ合うことで元気をもたらしている。地域全体の活性化につながった。
- 互いに助け合える地域住民の関係性の継承を継続していくこと。

#### 7. おわりに

これまで、「ひとりひとりが小さな葉っぱでも、集い、ふれ合うことで、地域として大きな花を咲かせたい。」「家庭と地域で子どもたちをやさしく抱きしめるようにはぐくんでいけたら。」という思いをこめて活動を行ってきた。15年間のボランティア活動の中で、子どもは家庭の中だけで育つわけではなく、学校や地域の人たちと関わり見守られながら成長していくことが大切だと実感した。地域の様々な人たちとつながることにより、親自身も学びながら育つことができるのではないだろうか。

四三嶋区は昔から行事が多く区民のまとまりがある。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事が中断した。住民の意識も少しずつ変わり、行事のスムーズな再開ができにくいと感じることもあったが、「地域のためにできることをやる。」という声を上げたのが子どもの時から様々な地域の行事を経験した若者たちだった。今後も、地域愛あふれる子どもたちを地域全体で育んでいきたい。

#### 問合せ先

〒838-0802 福岡県朝倉郡筑前町久光 951 番地 1

筑前町教育委員会 生涯学習課 公民館係

TEL 0946-24-8762 FAX 0946-23-1034 E-mail : gakusyuu@town.chikuzen.fukuoka.jp